

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131405		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	【未実施】障害者グループホーム設置促進事業		担当部局・課	健康福祉部 障害福祉課			
事業内容	知的障害者、精神障害者の地域における居住の場の充実を図り自立生活の支援を行う。19年に地域移行を目的とする入所施設が建設される。その受け皿としてグループホームを整備し、家賃補助、整備補助、敷金補助、住宅改造助成、世話人補助等、設置にかかる開設補助を行う。		事業開始(予定)年度				
			平成19年度				
			事業終了(予定)年度				
				昭和23年度			
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現				
		項目	きめ細かな地域福祉の推進				
		施策	障害者の住まいに関する福祉の充実				
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	知的障害者、精神障害者の施設入所・入院から地域生活への移行を推進。就労し、又は就労継続支援などの日中活動を利用している者にたいして地域において、自立した日常生活を営むために、グループホームの設置を促進する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) — (項) — (目) — (事項) —			
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	平成19年度以降に開始を予定している事業です。 「これから5年間のまちづくりプラン」において、事業として計画上の位置付けがあることから、評価対象事業としています。 実績に基づく評価はできないため、施策目標の達成に向けた現時点での相対的な重要度や、貢献度の判断に基づいて評価を実施しています。						
活動指標	指標名(単位)	新設数(箇所)		計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	グループホームの新設数			計画値	—	—
					実績値	—	

評価結果	A
	現時点で想定される上位施策に対する貢献度は他の事業と比較して高い。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。